

問9) 患者さんやご家族に、患者必携に含まれる情報について、説明のときに活用したいと思いませんか？（書籍の購入ではなく、内容について使いたいか、役立つかについてお答えください）

a) ~ c) のそれぞれについてお聞かせください。（各々○印は1つ）

	絶対活用したい	ときどき活用したい	どちらとも言えない	あまり活用したくない	全く活用したくない
a) がんになったら手にとるガイド	1	2	3	4	5
b) わたしの療養手帳	1	2	3	4	5
c) 地域の療養情報 栃木	1	2	3	4	5

問10) 次ページには、「患者必携 がんになったら手にとるガイド」の目次が示してあります。この中から、以下のことについてお答えください。

①この冊子を手にしてから、「患者さんが活用すると思うところ」すべてに○をしてください。また、「患者さんが最も活用すると思うところ」に1つだけ◎をしてください。

②この冊子を手にしてから、「患者さんの不安の解消に役立つと思うところ」すべてに○をしてください。また、「最も患者さんの不安の解消に役立つと思うところ」に1つだけ◎をしてください。

③現場での業務を通じて、「医療者として活用したいところ」すべてに○、そのうち「最も医療者として活用したいところ」に1つだけ◎をしてください。（活用例：患者さんの説明に用いたい、コピーして渡したい、内容についての問い合わせに対応したい）

### 記入例

患者さんが		医療者として	項目名
① 活用すると思う	② 不安の解消に役立つと思う	③ 活用すると思う	
○	◎		2 社会とのつながりを保つ
◎			3 治療法を考える
		○	4 治療までに準備しておきたいこと

患者さんが		医療者として	項目名
① 活用すると思う	② 不安の解消に役立つと思う	③ 活用すると思う	
		◎	② 不安の解消 患者さんの不安の解消に役立つと思うところすべてに○をつけてください。 また、最も不安の解消に役立つと思うところ1つに◎をつけてください。
		○	9 痛みを我慢しない
		○	10 がんの再発や転移のことを知る
		○	補完代替療法を考える

① 活用（患者さんが）  
患者さんが活用すると思うところすべてに○をつけてください。また、最も活用すると思うところ1つに◎をつけてください。

③ 活用（医療者として）  
医療者としてあなたが活用すると思うところすべてに○をつけてください。また、最も医療者としてあなたが活用すると思うところ1つに◎をつけてください。

➡➡ 次ページに続きます

以下の表に書き入れてください

患者さんが		医療者として	項目名
① 活用 する と 思 う	② 不安 の 解 消 に 役 立 つ と 思 う	③ 活 用 す る と 思 う	
			患者必携ガイドマップ
			第1部 がんと言われたとき
			1 診断の結果を上手に受け止めるには
			2 がんと診断されたらまず行うこと
			3 がんと言われたあなたの心に起こること
			4 情報を集めましょう
			5 相談支援センターにご相談ください
			第2部 がんに向き合う
			第1章 自分らしい向き合い方を考える
			1 自分らしい向き合い方とは
			2 社会とのつながりを保つ
			3 治療法を考える
			4 治療までに準備しておきたいこと
			5 がんに関わる“チーム医療”を知ろう
			6 医療者とよい関係をつくるには
			7 セカンドオピニオンを活用する
			8 患者同士の支え合いの場を利用しよう
			9 療養生活を支える仕組みを知る
			10 限られた時間を自分らしく生きる
			第2章 経済的負担と支援について
			1 治療にかかる費用について
			2 公的助成・支援の仕組みを活用する
			3 民間保険に加入しているときには

患者さんが		医療者として	項目名
① 活 用 す る と 思 う	② 不 安 の 解 消 に 役 立 つ と 思 う	③ 活 用 す る と 思 う	
			第3部 がんを知る
			第1章 がんのことで知っておくこと
			1 がんの発生と進行の仕組みを知る
			2 がんの検査と診断のことを知る
			3 がんの病期のことを知る
			4 手術のことを知る
			5 薬物療法(抗がん剤治療)のことを知る
			6 放射線治療のことを知る
			7 臨床試験のことを知る
			8 緩和ケアについて理解する
			9 痛みを我慢しない
			10 がんの再発や転移のことを知る
			11 補完代替療法を考える
			第2章 療養生活のためのヒント
			1 体調を整えるには
			2 食事と栄養のヒント
			3 排泄とトイレのヒント
			4 休養と睡眠のヒント
			5 気分転換とストレス対処法
			第3章 用語の解説
			それぞれのがんの療養情報

問1 1) それぞれの冊子に加えた方がよいと思う情報がありましたら、お書きください。

a) がんになったら 手にとるガイド	
b) わたしの療養手帳	
c) 地域の療養情報 栃木	



ここからは、地域での患者必携の普及、連携における活用についてお伺いします。主に、普段の業務との関わりを通しての視点からお答えください。

問1 2) 今後、貴所においてがん患者さんに患者必携を紹介したり、必携に含まれる情報についてお伝えいただいたりすることは可能ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 可能
2. 可能だが、事前の準備や調整が必要
3. 不可能
4. その他 ( )
5. わからない

問1 3) 患者必携の配布・活用にあたって、貴所で対応可能な取り組みについて、お答えください。(あてはまるもの、それぞれ1つに○)

	対応可能	準備が必要だが、可能	おそらく可能	おそらく困難(相当準備必要)	対応不可・困難
1. 貴所に見本を置き、訪れた人に自由に見てもらおう					
2. 貴所に見本を置き、要望があった人に入手方法を説明する					
3. 必要に応じて、がん情報サービスのサイトから一部ページをダウンロード・印刷して説明に用いる					
4. 患者必携を持っている人に、内容や使い方について、アドバイスする					
5. 抗がん剤や医療用麻薬を処方されている人など、がん患者さんやそのご家族から問い合わせがあった時に紹介する					
6. 相談支援センターから紹介された患者に対応する					
7. 担当医などに質問ができるよう「わたしの療養手帳」の記入を手助けする					

	対応可能	準備が必要 だが、可能	おそらく 可能	おそらく 困難（相当 準備必要）	対応不可 ・困難
8. 貴所にポスターを貼ったりしおりを置いたり動画を流して、認知を促す					
6. がん診療連携拠点病院など、連携機関への紹介の際に見本を案内する					
9. 地域連携クリティカルパスの普及・推進との連携で活用する					
1 1. 一般の方や患者さん向けに勉強会を開催する					
1 2. 医療者向けの勉強会を開催する					

問1 4) 患者必携の普及・活用を促し、医療機関や地域での療養介護施設での連携に向けた取り組みとして、次のような検討が行われています。効果的だと思われるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 先行事例の紹介（試験配布、モデル事業）</li> <li>2 内容についての評価（満足度調査等）</li> <li>3 医療機関内での一般、患者向けの啓発、認知向上</li> <li>4 医療機関内での医師向けの啓発、認知向上</li> <li>5 医療機関内での看護師向けの啓発、認知向上</li> <li>6 医療機関内での薬剤師向けの啓発、認知向上</li> <li>7 地域における一般、患者向けの啓発、認知向上</li> <li>8 地域における医療者向けの啓発、認知向上</li> <li>9 患者向けに活用方法を具体的に示した支援ツール（マニュアル、動画など）</li> <li>10 医療者向けに活用、説明方法を示した支援ツール</li> <li>11 医療機関での導入方法を示した支援ツール</li> <li>12 他の医療機関の取り組み事例</li> <li>13 医療機関内での説明会</li> <li>14 都道府県内での説明会</li> <li>15 都道府県の連携協議会などでの情報共有</li> <li>16 インターネットでの活用支援（事例紹介、支援ツール、掲示板など）</li> <li>17 患者向けサポートセンターでの活用支援（電話による相談、問合せ相談窓口など）</li> <li>18 医療機関向けサポートセンターでの活用支援（不足ツール発注、問合せ相談窓口など）</li> <li>19 提供方法の要件化、定型化</li> <li>20 拠点病院の連携強化学業としての明示</li> <li>21 診療報酬化（相談支援や指導料として、等）</li> </ul> |
|---|

問15) 医療者としての現場での業務を通じて、配布・普及の可能性、課題、配布・活用を促す取り組みの提案など、お気付きの点があればご自由にお書きください。

問16) 患者必携に含まれる情報が、がん患者・家族に届き、効果的に活用されるためのご提案・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

問17) 当アンケートの記載を踏まえて、研究班ではインタビューによるヒアリング調査を予定しております。その際にご協力いただくことは可能でしょうか。(30分から1時間程度の面談を予定しています。「1. 協力可能」の方には、後日当研究班より電話あるいはメールにて、詳細についてお打ち合わせをさせていただく場合がありますので、よろしくお願い申し上げます。)

1. 協力可能→連絡先をお書きください

機関名 ( )  
部署 ( )  
氏名 ( )  
連絡先電話番号 ( )  
メールアドレス ( )

2. 協力できない

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。

アンケート締切：10月6日(木)までに、返信用封筒にて返送してください。

ご返送先・お問い合わせ先 栃木県立がんセンター 相談支援センター(相談研修課) 長野泰恵

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

TEL : 028-658-5151(内線 3129) TEL : 028-658-6484 (直通)

## ご参加の皆さまへ



## 「患者必携」アンケートのお願い

「患者必携」は患者さん・ご家族が がんの診療上必要な情報を収集し、整理し、あるいは わからないことをメモしたり、医療者と対話をするときに活用していただくように作成しているものです。お渡ししたのち、ご自宅で読んだり、書き留めたりするとき、あるいは、定期的に担当医の診察や、看護師・相談員へ面接や電話相談をされるときなどでご活用いただくことを目指しています。

この「患者必携」は、がんにかかった方の役に立つように全国的に普及できるか、検討段階です。アンケートは、さらに良い「患者必携」にする際の資料にさせていただきます。ご協力宜しくお願いいたします。

**アンケート締切：4月22日（金）までに、同封の封筒に入れて返送してください。**

研究実施機関：厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略事業

「患者・家族・国民の視点に立った自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究

（研究代表者 渡邊 清高：国立がん研究センターがん対策情報センター）」

研究協力者：清水 秀昭（栃木県立がんセンター 病院長）

ご返信・問い合わせ先 栃木県立がんセンター 相談支援センター 相談員・保健師 長野 泰恵  
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13（直通電話）028-658-6484

【ご参考】国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス (<http://ganjoho.jp/>)

「患者必携」掲載ページ をご参照ください

[http://ganjoho.jp/public/qa\\_links/brochure/hikkei\\_index.html](http://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/hikkei_index.html)

**\* 患者必携は PDF ファイルとして閲覧、印刷できます。また、市販本として3月より書店等で販売しています。**

問1) あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代以上

問2) あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男
2. 女



問3) あなたの属性を教えてください(あてはまるものすべてに○)

1. 派遣社員
2. 一般社員
3. 管理職、役員
4. 社員の家族
5. 医療スタッフ
6. がん患者またはがん経験者
7. がん患者の家族
8. がんに関連する業務に従事した経験のある方(相談業務など)

問4) 患者必携のこと、知っていましたか?

1. 知っていた →どこで知りましたか? ( )
2. 知らなかった(今日初めて知った)

問5) 患者必携(「がんになったら手にとるガイド」「わたしの療養手帳」) ご覧になった、第一印象を教えてください(当てはまるものすべてに○)

<p>記入例→</p>	<p>重い・軽い・<u>持ちやすい</u>・持ちにくい・字が大きい・字が小さい  <u>読みたい</u> 書きこみたい・欲しい・誰かに紹介したい・買いたい          優しい・<u>頼れそう</u> 使いたい・気が重くなる・読みにくい          書きづらい・怖い・つらくなる・頼りにならない・いらぬ          その他→ ( )</p>
<p>a)がんになったら手にとるガイド</p> 	<p>重い・軽い・持ちやすい・持ちにくい・字が大きい・字が小さい          読みたい・書きこみたい・欲しい・誰かに紹介したい・買いたい          優しい・頼れそう・使いたい・気が重くなる・読みにくい          書きづらい・怖い・つらくなる・頼りにならない・いらぬ          その他→ ( )</p>
<p>b)わたしの療養手帳</p> 	<p>重い・軽い・持ちやすい・持ちにくい・字が大きい・字が小さい          読みたい・書きこみたい・欲しい・誰かに紹介したい・買いたい          優しい・頼れそう・使いたい・気が重くなる・読みにくい          書きづらい・怖い・つらくなる・頼りにならない・いらぬ          その他→ ( )</p>

問6) もし、あなたやあなたの家族ががんになったら、使ってみたいと思いますか?  
(あてはまるもの1つに○)

	絶対使いたくない	どちらかと言え使いたくない	どちらとも言えない	どちらかと言え使いたい	ぜひ使いたい
a)がんになったら手にとるガイド	1	2	3	4	5
b)わたしの療養手帳	1	2	3	4	5

問7) それぞれに書かれている内容は詳しすぎますか、それとも簡単すぎますか。a)～b)のそれぞれについてお聞かせください。(各々○印は1つ)

	とても詳しすぎる	やや詳しすぎる	ちょうどよい	やや簡単すぎる	とても簡単すぎる
a)がんになったら手にとるガイド	1	2	3	4	5
b)わたしの療養手帳	1	2	3	4	5

問8) これらの冊子(「がんになったら手にとるガイド」「わたしの療養手帳」)が患者さんの手に届くことは患者さん、ご家族にとって役立つと思われましたか。それぞれについてお聞かせください。(各々○印は1つ)

	とても役に立った	まあ役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった
a)がんになったら手にとるガイド	1	2	3	4	5
b)わたしの療養手帳	1	2	3	4	5

問9) あなたが、がんの患者さんだとして、この冊子「がんになったら手にとるガイド」を読んで1-2ヵ月後に、どのように活用している(あるいは、していない)と思えますか。

「活用している」と思うところをすべて○、そのうち「最も活用している」、「最も不安の解消に役立つ」と思うところに◎をしてください。

また、「まったく使わない」と思うところすべてに△をつけてください。

### 以下の表に書き入れて下さい

活用した	不安の解消につながった	まったく読まなかった	項目名	活用した	不安の解消につながった	まったく読まなかった	項目名
			患者必携ガイドマップ				第3部 がんを知る
			第1部 がんと言われたとき				第1章 がんのことで知っておくこと
			1 診断の結果を上手に受け止めるには				1 がんの発生と進行の仕組みを知る
			2 がんと言われたらまず行うこと				2 がんの検査と診断のことを知る
			3 がんと言われたあなたの心に起こること				3 がんの病期のことを知る
			4 情報を集めましょう				4 手術のことを知る
			5 相談支援センターにご相談ください				5 薬物療法(抗がん剤治療)のことを知る
			第2部 がんに向き合う				6 放射線治療のことを知る
			第1章 自分らしい向き合い方を考える				7 臨床試験のことを知る
			1 自分らしい向き合い方とは				8 緩和ケアについて理解する
			2 社会とのつながりを保つ				9 痛みを我慢しない
			3 治療法を考える				10 がんの再発や転移のことを知る
			4 治療までに準備しておきたいこと				11 補完代替療法を考える
			5 がんに関わる“チーム医療”を知ろう				12 医療者とよい関係をつくるには
			6 医療者とよい関係をつくるには				第2章 療養生活のためのヒント
			7 セカンドオピニオンを活用する				1 体調を整えるには
			8 患者同士の支え合いの場を利用しよう				2 食事と栄養のヒント
			9 療養生活を支える仕組みを知る				3 排泄とトイレのヒント
			10 限られた時間を自分らしく生きる				4 休養と睡眠のヒント
			第2章 経済的負担と支援について				5 気分転換とストレス対処法
			1 治療にかかる費用について				第3章 用語の解説
			2 公的助成・支援の仕組みを活用する				
			3 民間保険に加入しているときには				



問9) あなたの普段の生活、あるいはがんに関するこれまでの取り組みを踏まえて、これらの冊子に加えた方がよいと思う情報がありましたら、お書きください。

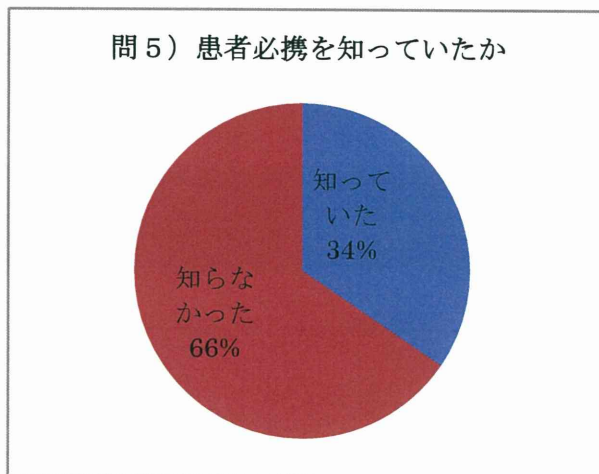
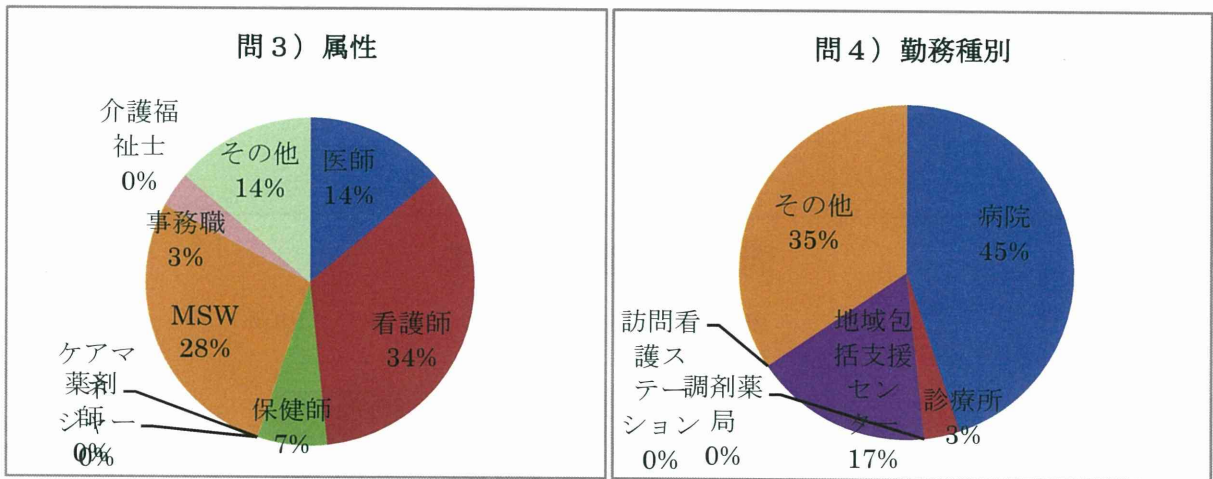
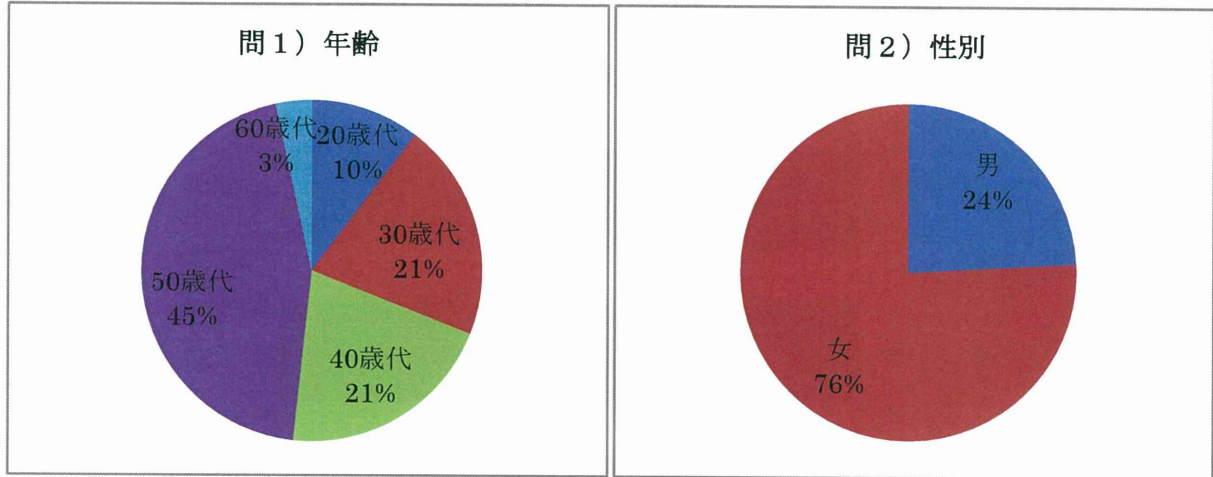
問10) 現在、患者必携に組み合わせて活用する、身近な相談窓口や医療機関の情報を取りまとめた「栃木県版 地域の療養情報」が試作されています。

「地域の療養情報」に取り入れてほしい情報やテーマなどありましたら、こちらにお書きください。

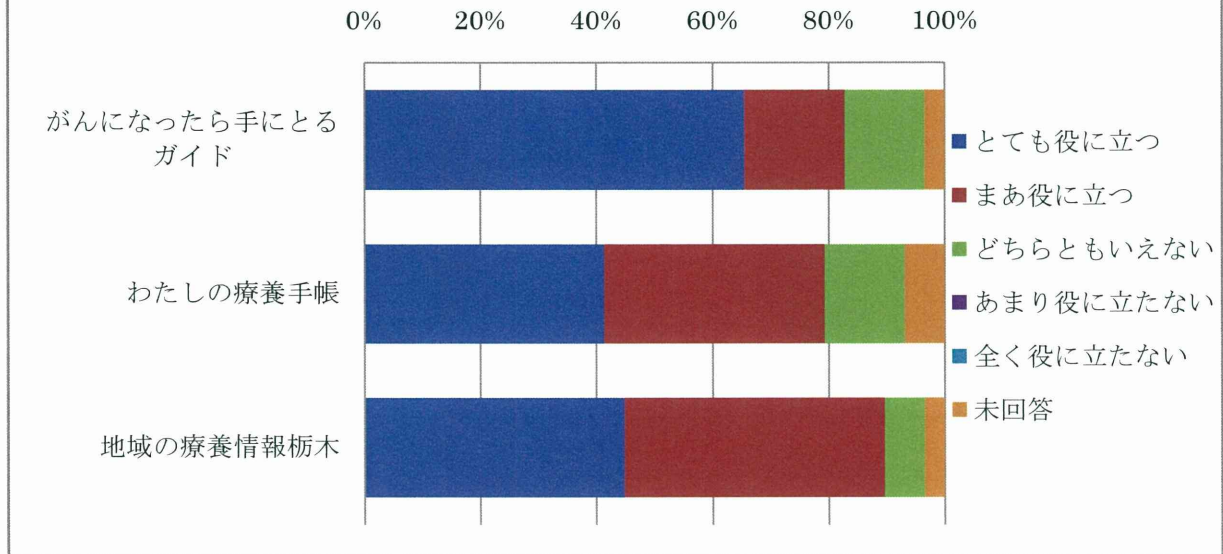
問11) 最後に、患者必携についてご意見・ご感想、ご提案などあればお書きください。

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。

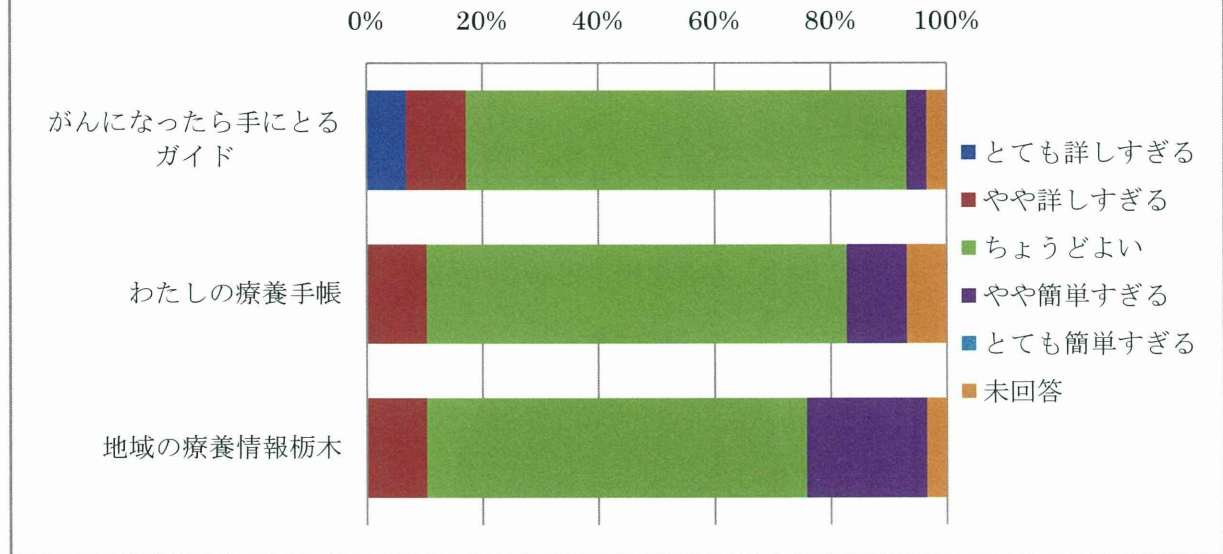
【資料③】



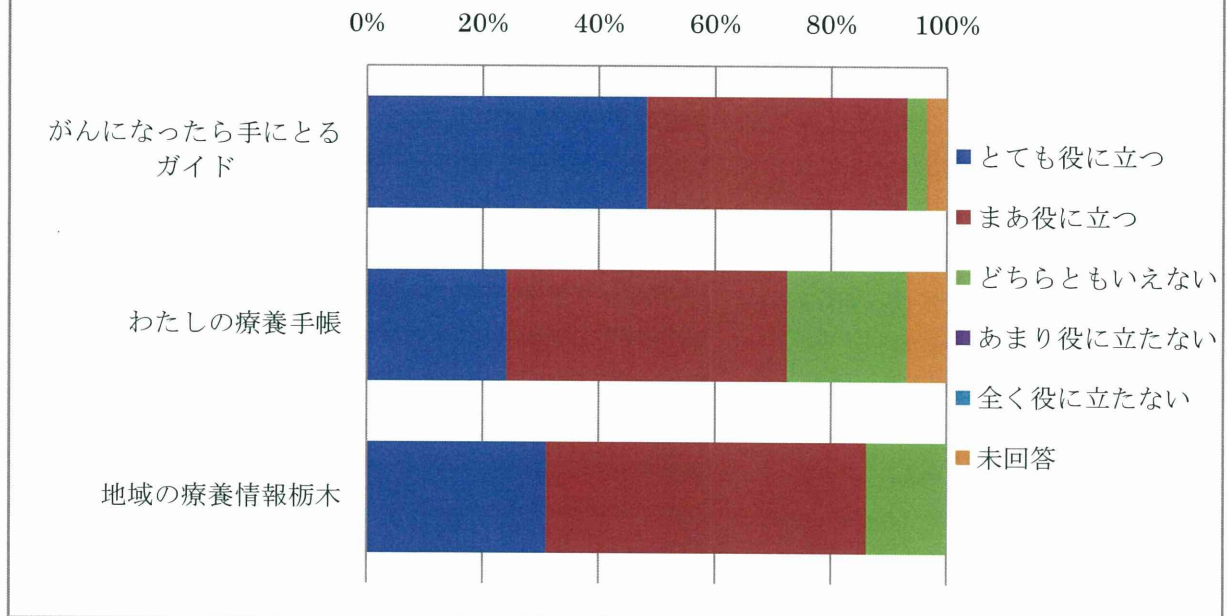
### 問6) 患者家族にとって役立つと思うか



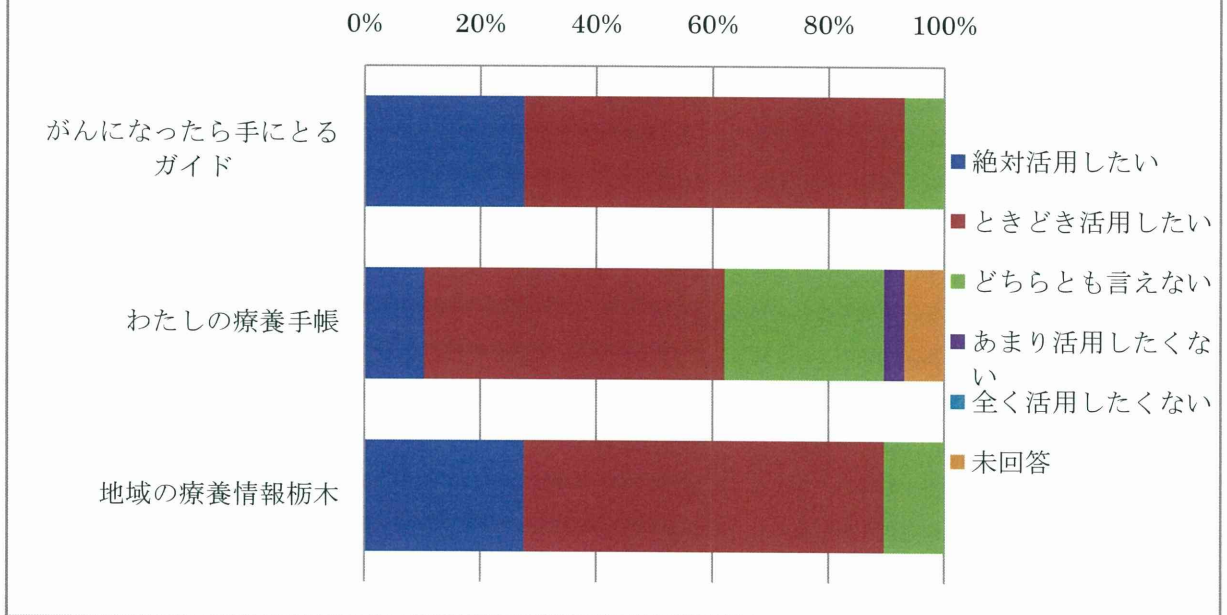
### 問7) 内容について



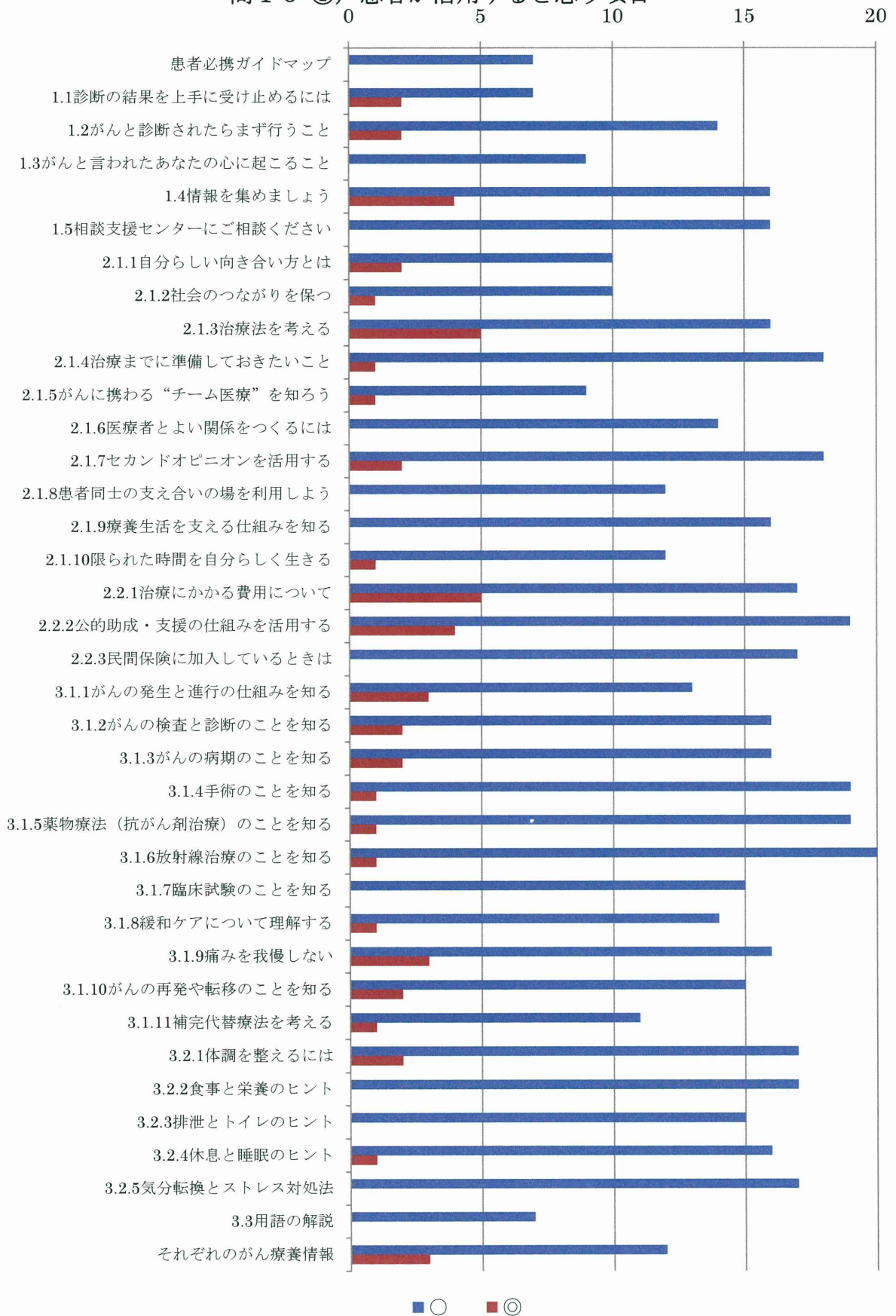
### 問8) 医療者にとって役立つと思うか



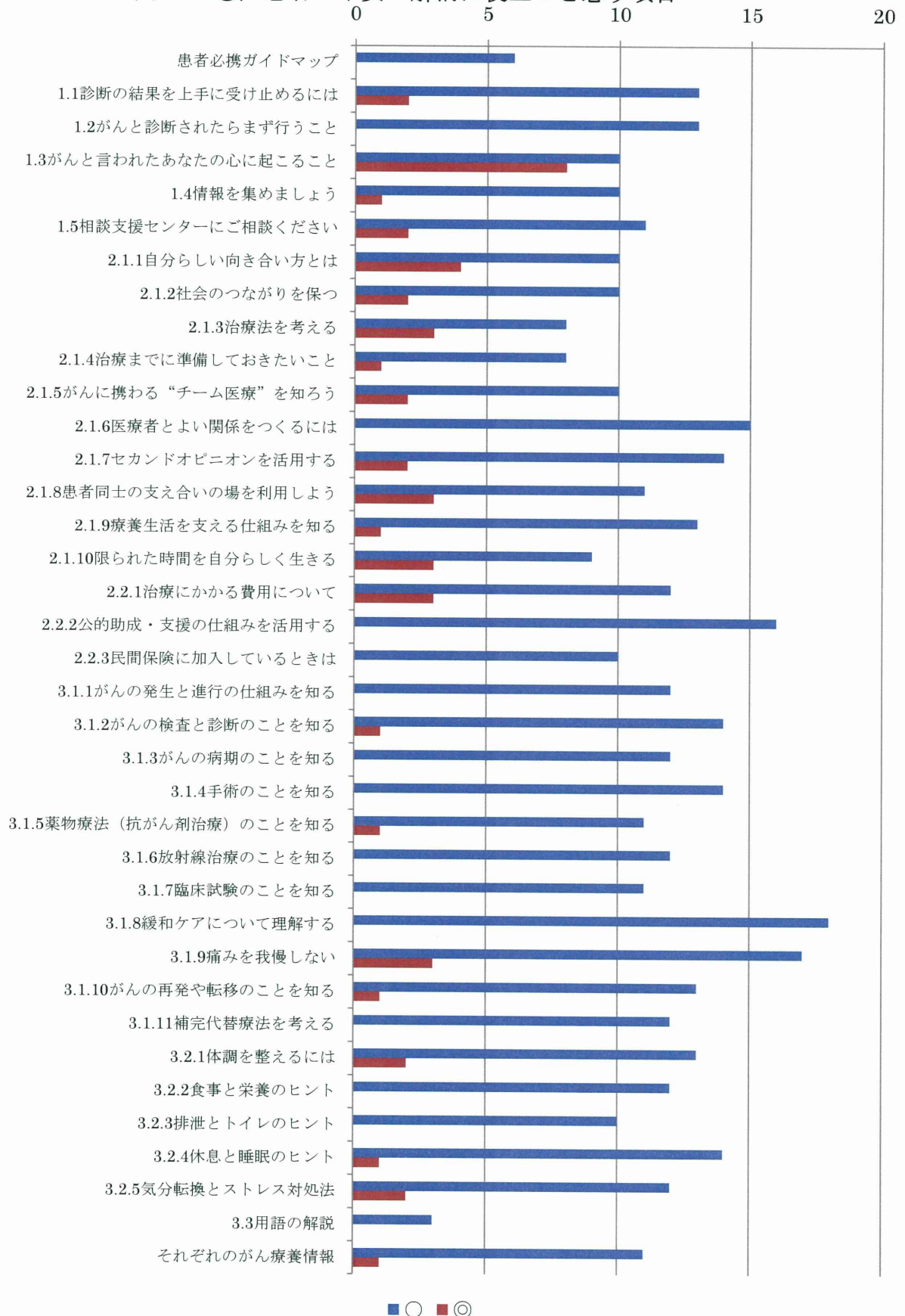
### 問9) 患者・家族に患者必携に含まれる情報について、説明の時に活用したいか



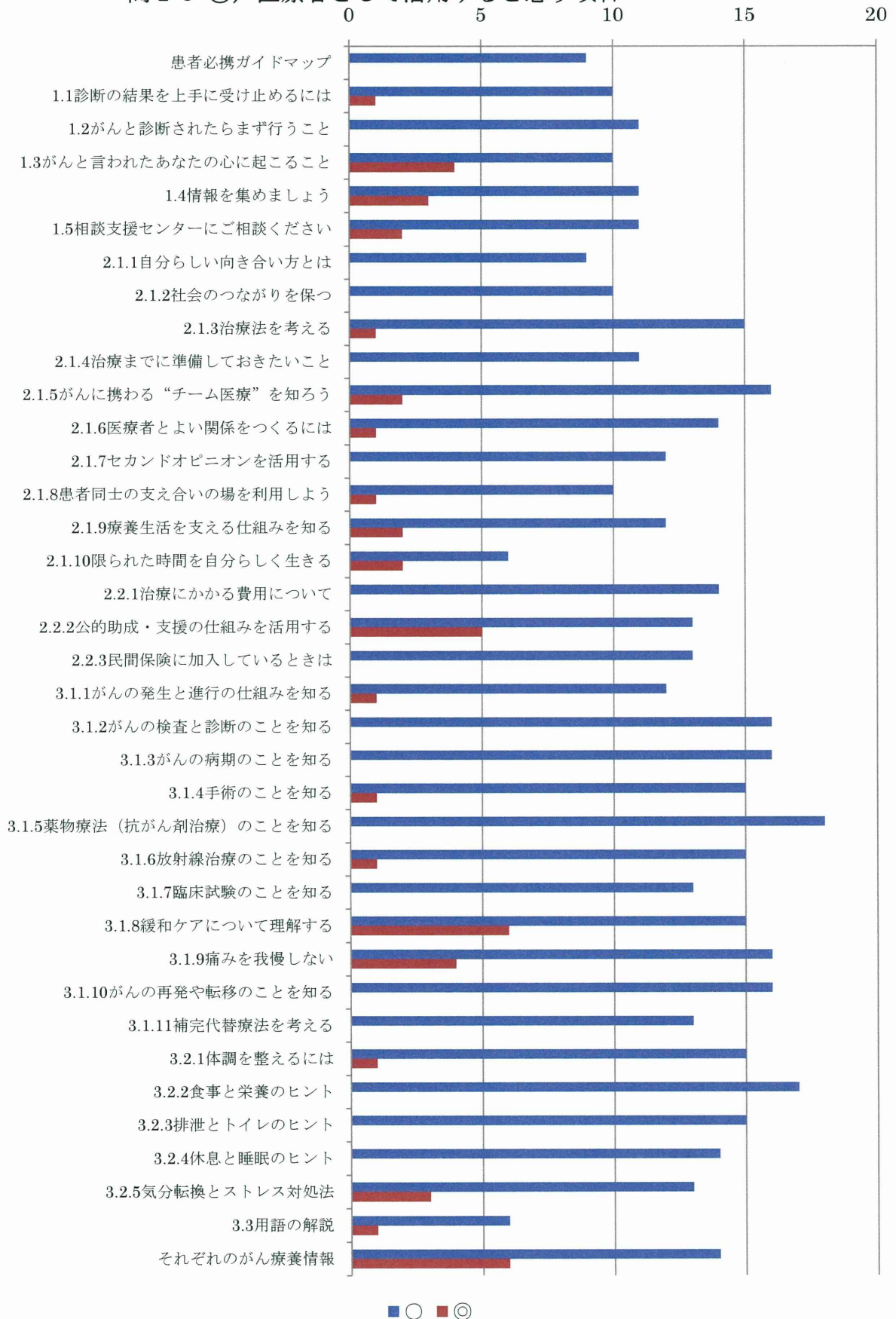
問10-①) 患者が活用すると思う項目



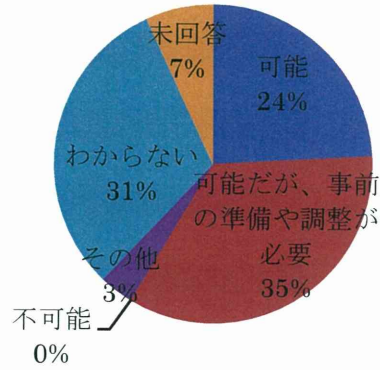
問10-②) 患者の不安の解消に役立つと思う項目



問10-③) 医療者として活用すると思う項目

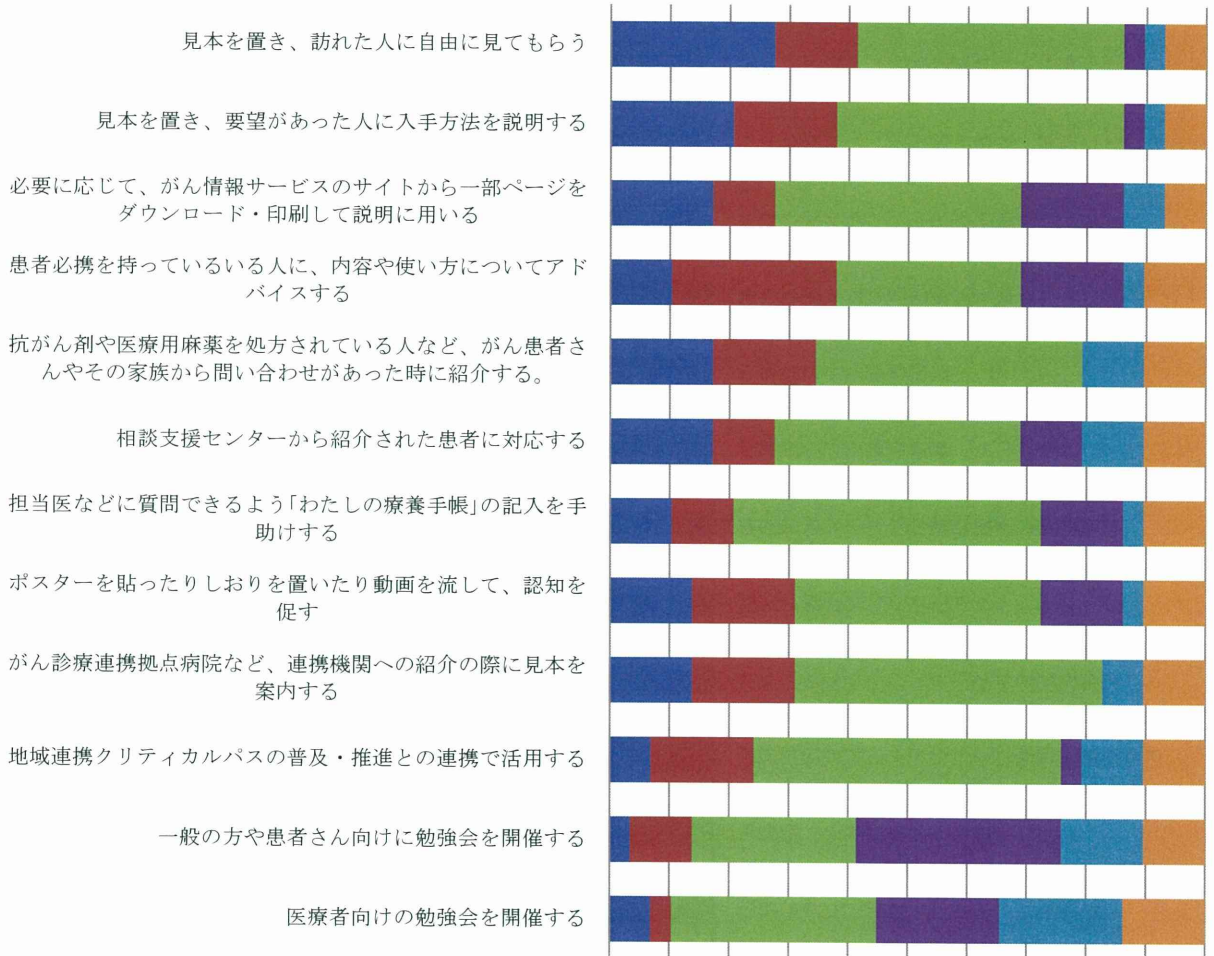


問 1 2) 患者必携の紹介、情報提供は可能か



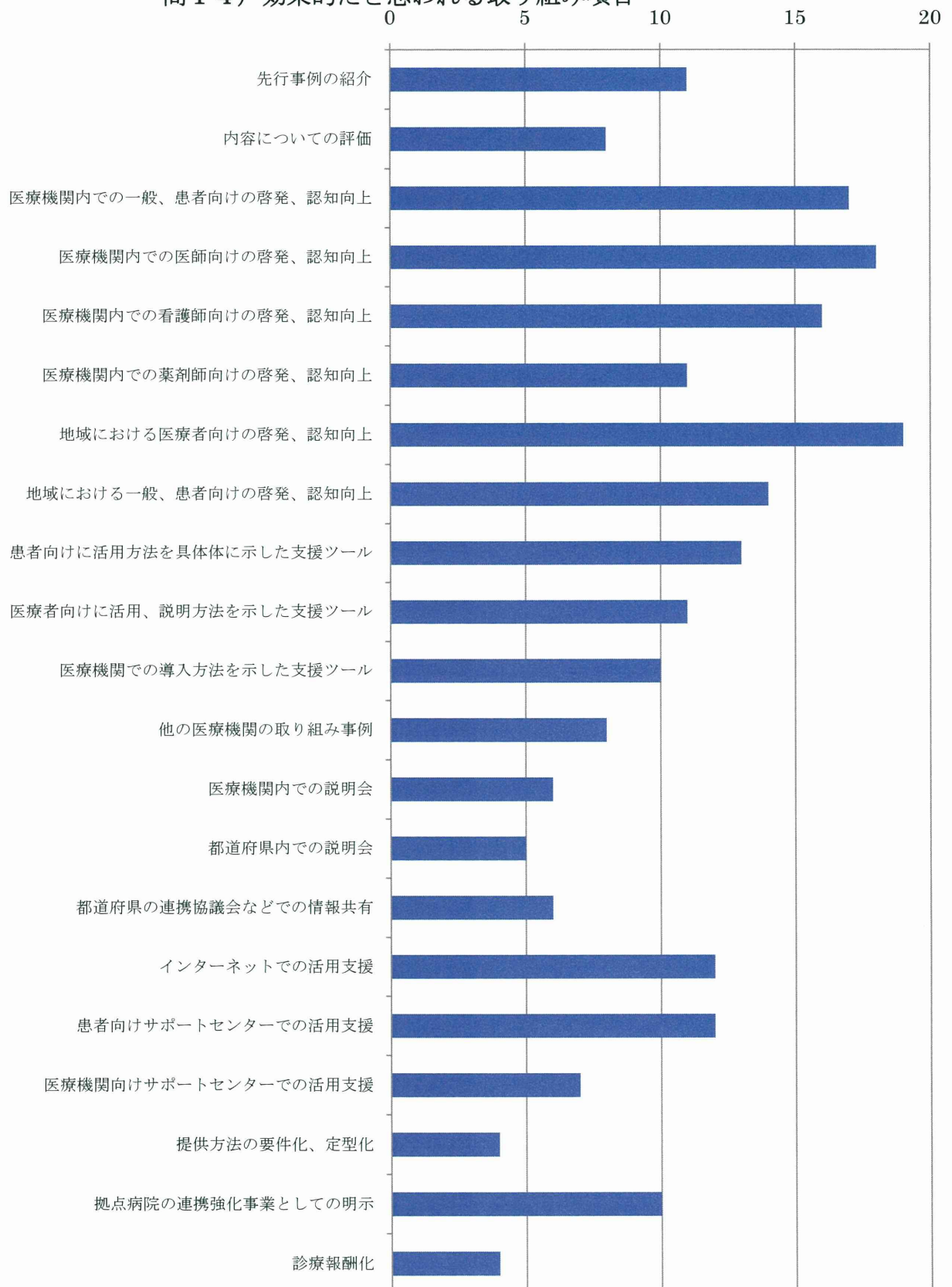
問 1 3) 患者必携の配布・活用にあたって、対応可能な取り組みについて

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

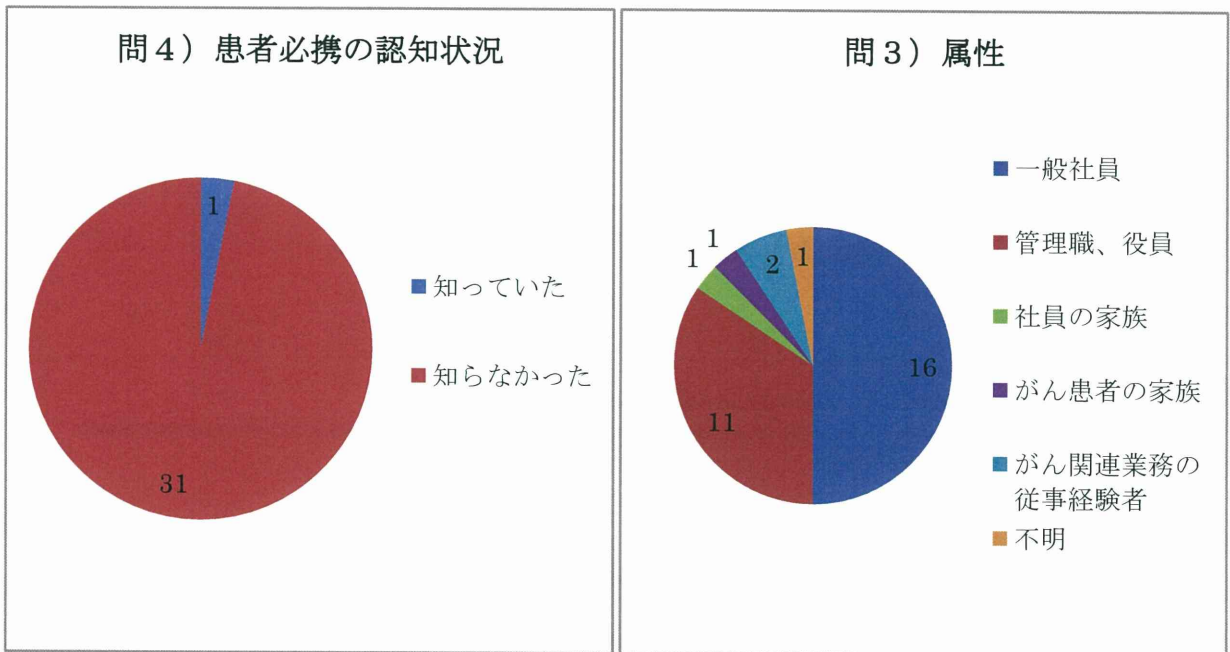
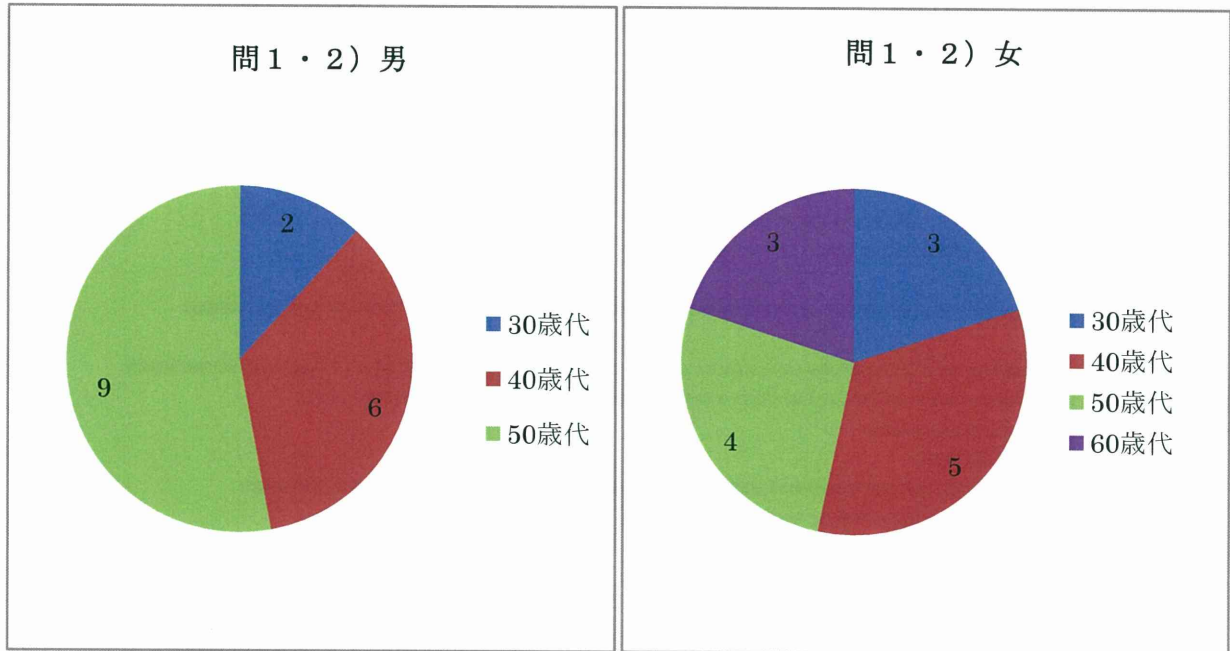




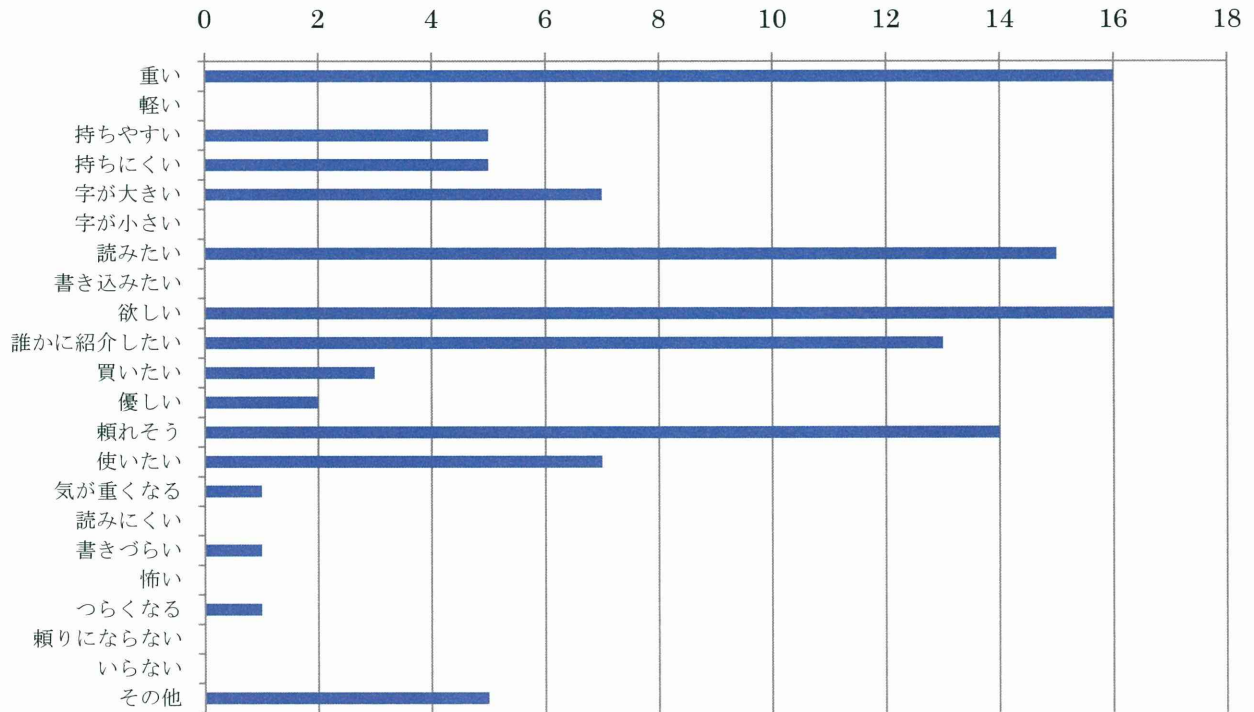
問 1 4) 効果的だと思われる取り組み項目



【資料④】



問5-a) 第1印象：がんになったら手にとるガイド



問5-b) 第1印象：わたしの療養手帳

